

【まちづくり・活性化特別委員会で合意形成を図った意見・要望】（要約）

○令和2年度予算案及び事業等に反映する必要があると思われるもの

1. 様々な課題を抱える子どもたちへの支援

相談件数は年々増加し、様々な課題の解決には学校や家庭、地域も含めて取り組みが必要で、小中学校でのスクールソーシャルワーカーの体制強化に加え、家庭と地域をつなぎ、小中学校を初め関係機関とも連携し、子育て世代包括支援センターにもソーシャルワーカーを配置してほしい。

2. 小中学校へのエアコン設置

普通教室等へは設置されたが、避難所となる体育館などへの設置も今後想定され、未設置の特別教室への対応も含め、各学校の意向調査も行いながら、国等の有利な財源が確保できる場合にも即応できるよう、設置計画の策定に取り組んでほしい。

3. 若者を中心とした地元雇用促進

新卒の若者や市外からのUターン希望者の就職に対する事業を充実させ、学校、地域企業や関係機関の相互理解を図り、受け皿となる様々な地域企業を生徒やその家族が知

るためにさらなる周知を行い、地元雇用を促進してほしい。

4. 大牟田市中心市街地活性化基本計画の見直し

これまでの取り組みを検証し、商業振興についても、売り手と買い手のニーズ、地域の課題も調査し、タウンマネージャーとも協力しながら、にぎわいや魅力、新たな商業の創出につながる実効性のある取り組みを充実してほしい。

5. 県への保健所の設置主体の変更

食品営業許可は、2年度は更新期に臨時申請窓口が開設されるが、その実施状況等を検証し今後も県と協議してほしい。また、臨時営業許可は、申請件数が多いことやイベント等での安心安全の確保のためにも、本市で申請できるよう引き続き検討してほしい。

3年度から県事務所へ変更される医療費助成制度の申請は、実施状況等を検証し市民への影響を緩和してほしい。

6. 健康いきいきマイレージ事業

事業の性質上、成果に結び

つくまで一定時間がかかり、継続して効果を上げるにも、事業目的、課題等を整理・検証し、事業のあり方や実施手法を含め総括を行い、より良い事業を構築してほしい。

7. 地域公共交通網形成計画

高齢化に伴う免許返納など、地域の交通網に関わる社会情勢への対応のため民間事業者等と協議・協力し、交通弱者に配慮した具体的な取り組みに着手しながら計画を進めてほしい。また、公共交通空白地域の解消への取り組みを2年度予算へ反映してほしい。

8. シティプロモーション

市として総合的に統括する機能の強化に加え、たーんとよかところ協議会や観光協会との連携や役割分担が明確でなく、今後の方向性やあり方が問われているため、まずは現戦略を総括してほしい。

また、地域資源を生かし、メディアなどを活用し効果的に取り組みながら、次期戦略を策定、推進してほしい。



光田 茂
議員

①70歳 ②諏訪町 ③スポーツ観賞
④成せばなる、成さねばならぬ 何事も ⑤気候が温暖で住みやすい。また医療機関や学校が充実している。 ⑥長所・短所はやかましいところもありつつ、相手の気持ちを理解しその立場で考えるところ



三宅 智加子
議員

①60歳 ②平原町 ③フルス演奏（中国雲南省の民族楽器）、観劇、スポーツ観戦、園芸 ④心こそ大切なれ（素直な心、負けない心） ⑤人情味溢れる人柄、懐深く包んでくれる三池山、有明海の夕日、青空や夕空に映えるメタセコイアの樹形 ⑥楽観的、意外と頑固